

「くまもと戦争遺産の旅」コーディネート（案）

ピースくまもと設立準備会事務局長 高谷和生

1 「熊本の戦争の歴史とその遺産に学ぶ！」ピースくまもと3本柱の二項目

- (1) バスツアー事業への基本認識
熊本に、戦争と平和のミュージアム「ピースくまも（仮）」設立に向けて県民啓発の場とする。また、新たな観光視点である「記憶の遺産を継承する“ダークツーリズム”観光」の具体的な認識や取り組みの機会とする。
 - ①軍都熊本の「戦争の歴史」を学び、平和を考える場
 - ②県内の戦争遺産（戦争遺跡や戦時資料、地域づくり）の情報発信の場
 - ③貴重な戦争体験「記憶の遺産」に学び、新たな観光の視点を活かした戦争遺産観光ガイドの場
- (2) コーデ視点 …世代を超えた場の共有と共感、体験「遺跡・実物に触れる」、車中コラム
- (3) 見学会資料 …当日日程表、見学会資料（歩兵十三聯隊・留魂碑資料）
各種リーフレット（くまもと戦争遺産ガイドマップ、菊池飛行場を活写する、黒石原飛行場と奉安殿）、菊池飛行場・ミュージアム関係資料

2 各戦争遺跡等での歴史認識、押さえない事

- (1) 大江地区戦跡「熊本学園大学内十三聯隊食堂、正門跡」 ※皇威無窮碑は資料紹介のみ
軍都熊本を象徴する唯一の建物、約90年間利用の変遷、平成28年熊本地震被災後の修復様子、学園大学学生の近代化遺産（戦争遺産）への認識、新たな学園大学平和学
- (2) 熊本再春荘病院内「留魂碑」
空襲被害者の姿、銃後と空襲、空襲を通しての戦争実相理解、語り継ぎの困難さ 他
- (3) 「黒石原飛行場奉安殿」
皇民化教育の象徴、教育勅語・御真影、GHQ神道指令による解体、全国遺存約490件、合志市指定文化財へ、地域住民の意識変遷、買取と史跡整備、今後の利活用「平和教育」
- (4) 「菊池（花房）飛行場給水塔・油倉庫・格納庫・慰霊碑」他
菊池市指定文化財「花房飛行場給水塔」、地域に残された戦争遺跡・遺構の記録と保存・安全対策、地域で今も続く慰霊際・行事、戦争遺産を活用した地域づくり
- (5) 菊池飛行場ミュージアム
菊池飛行場に関する民間ガイド施設、菊池飛行場記録・証言収集、平和への情報発信

3 戦争証言者と継承していきたい事

- (1) 熊本学園大学「十三聯隊食堂・正門跡」 ……活字・空撮写真資料解説
- (2) 熊本再春荘病院内「留魂碑」 ……活字・写真資料解説
- (3) 黒石原飛行場奉安殿「橋本繁男さん」
……陸軍大刀洗飛行学校黒石原教育隊、8/14土崎空襲、奉安殿・平和学習への思い
- (4) 菊池飛行場「倉沢泰さん」
……職業軍人、戦後の開拓、幼児教育への思い、地域の変容、地域のアイデンティティ
菊池飛行場「前田祐助さん」
……少年飛行兵へのあこがれ、身代わりになった戦友、戦争の実相、語り継ぐ活動

4 その他 評価等

- (1) 記憶の継承（ダークツーリズム）での評価
 - 見学場面ごとの感想・気づき（見学者をセレクト）
 - 参加者の意識（参加前と見学後の変容 等）アンケート
 - 帰路バス内での参加者の感想発表、記録
 - 遺跡・証言での理解や感じ取れないこと、わからないこと
- (2) 観光事業としての評価
 - チラシ等でのPR 新聞紹介 募集推移 採算
 - 「ピースくまもと」での事業展開の見通し、可能性



落書き除去、説明看板も建ち、整備が進む「黒石原飛行場奉安殿」

「くまもと戦争遺産の旅 ～記憶の遺産を継承するバスツアー～」

1 日 時 平成30年7月1日(日)、8月5日(日)の計2回

親子参加も可能。

※両日とも9時発～16時半頃帰着 ※小雨決行

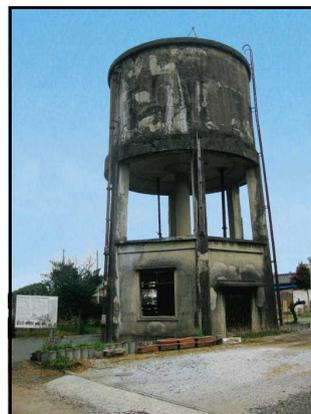
2 趣 旨

戦後73年を迎えるにあたり、県内各地に残されている戦争の記憶をつたえる戦争遺産をめぐり、「戦禍の記憶」を振り返り、「平和の大切さ」を考える機会とします。

熊本に、平和のミュージアム「ピースくまもと」設立に向けて県民啓発の場とします。また、新たな観光視点である「記憶の遺産」を継承する取り組みの機会とします。

3 日 程 「軍都熊本の大江地区、合志の戦跡と菊池飛行場の現地、菊池飛行場ミュージアムをめぐる！」見学コース案

- ①熊本市民会館発(9:00) →
- ②大江地区戦跡「熊本学園大学内・十三聯隊食堂」及び「正門跡」(9:20～10:10) →
- ③再春荘内「留魂碑」 → 「黒石原飛行場奉安殿」(10:40～11:30) →
- ④戦争証言を聞く会：泗水公民館大研修室(11:50～12:20) →
- ⑤菊池飛行場ミュージアム見学、昼食・買物「道の駅 泗水」(12:20～13:10)
- ⑥菊池(花房)飛行場「慰霊碑、給水塔、油倉庫・格納庫 他」(13:20～15:20)
- ⑦熊本市民会館着(16:30頃)



菊池市指定文化財
「花房飛行場跡給水塔」

4 事業計画、主催・共催団体等

- (1) 本事業は、ピースくまもと設立準備会が行程案を作成し、旅のよろこび株式会社との共同事業として実施する。
旅のよろこび株式会社：熊本市北区飛田3-1-28・宮川和夫代表・345-0811
- (2) 今回コース見学では、「戦争遺産フォーラムくまもと」参加団体である、花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会、合志の近代遺産を学ぶ会、くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワークの協力を得る。
- (3) 各戦争遺跡では、以下の証言者により現地講話を行う。
ア 大江地区戦跡「学園大学内十三聯隊食堂・正門跡」：証言なし
イ 黒石原飛行場：橋本繁男さん(2回)、再春荘病院内「留魂碑」：証言なし
ウ 菊池(花房)飛行場：前田祐助さん(7/1)、倉沢泰さん(8/5)

5 概要・事業評価 他

- 現地見学では各団体による「戦跡平和ガイド」活動を行う。案内及び順路・時間配分等を考慮しコース等も担当いただく。見学先承諾は、熊本学園大学総務課(096-364-5161)、熊本再春荘病院(096-242-1000)、合志市生涯学習課(096-248-5555)。使用申請は泗水公民館(0968-25-2028)
- 大型貸切バス利用(定員45人)、募集は40名。弁当は「持参」もしくは道の駅にて購入。
- 参加費4800円未満程度(入場料・資料代・保険込み)、子ども料金4500円。
- 証言者・関係団体・講師等の薄謝も準備
- 参加者募集等は、両方で分担して行う。5/13設立準備会発足会より、事業案内チラシを各所に配布告知し、募集概要等は本会HPにも掲載する。
- 本事業に関しては、観光学の視点から東海大学熊本キャンパス経営学部観光ビジネス科高野誠二准教授に指導助言・評価を仰ぐ。
- 熊本で初のダークツーリズム観光の取り組みとなる「記憶の遺産」を継承するバスツアー企画・当日概要等に関して、報道関係への取材依頼。熊日・TKU・RKK・NHK予定



問い合わせ先・連絡先
ピースくまもと設立準備会事務局長 高谷 和生
自 宅/〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
個人携帯 090-1513-5528
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp
<http://www.kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>